

空 手 道

1 開催期日 令和8年6月21日(日)

2 開催場所 鳥栖市民体育館

3 実施要項

(1) 日 程 8:00 開 場

8:20 審判会議

8:50 監督会議

9:30 開 始 式

女子形個人戦・団体戦 男子形個人戦・団体戦

女子組手個人戦・団体戦 男子組手個人戦・団体戦

(2) 競技方法

①組手試合はトーナメント方式とする。

②組手試合は6ポイント差とし、時間は1分30秒フルタイムとする。勝敗が決しない場合は判定により決する。団体組手の場合は、時間は1分フルタイムとし準決勝からは1分30秒フルタイムとする。

③団体組手は各チームの初戦のみ大将戦まで行う。以降は、どちらかが2勝して勝敗が決定した場合、競技終了とする。

④個人戦・団体戦ともに、3位の選手・チーム同士で九州大会出場の優先順位決定戦を行う。

⑤形競技は、赤青フラッグ方式とする。

(3) 参加資格

①佐賀県中学校総合体育大会開催基準による。

②学校単位の自由参加とする。

③参加資格の特例を認める。(開催基準(10)地域クラブ活動)

(4) 参加制限

①チーム編成は、監督1名・コーチ1名・選手3名・交代選手2名の合計7名以内とする。

②団体戦は形・組手とも3人制とする。ただし、団体戦組手においては2名でも参加を認める。対戦するチームが双方2名の場合はオーダーを先詰めとする。3人対2人の場合はどこを開けてもよい。

③個人戦は各チームそれぞれ4名以内とする。

(5) 競技規則

①令和8年度(公財)全日本空手道連盟競技規程及び全国中学校空手道連盟申し合わせ事項並びに本大会要項を適用する。

②形競技については次の表の通りとする。

回戦	使用できる形
1回戦～ 準々決勝の前 まで	(公財)全空連第一指定形、 平安(ピンアン)初段～五段、ゲキサイ第一、ゲキサイ第二、サンチン、 鉄騎(ナイハンチ)、初段～三段 ※同じ形を連続して使用してもよい
準々決勝	(公財)全空連第二指定形
準決勝	(公財)全空連競技形 ※準々決勝までに使用した形を使用してもよい
決勝	(公財)全空連競技形 ※準決勝までに使用した形を使用してもよい

③組手競技は、(公財)全日本空手道連盟指定安全具を着用すること。

ア 男子組手競技は次の6点

正拳サポーター (赤・青)、ボディプロテクター、ニューメンホー (VII)
金的カップ、シンガード、インステップガード

イ 女子組手競技は次の5点

正拳サポーター (赤・青)、ボディプロテクター、ニューメンホー (VII)
シンガード、インステップガード

※ インステップガード・シンガードについては、全空連指定の白色のものを使用する。

ウ 団体組手競技の場合は、出場選手分の競技用品を用意すること。

④倒したまたは倒れた相手への蹴りによる攻撃は禁止されている。

⑤試合は競技用マットを使用する。

(6) 表彰

形・組手団体戦優勝チームには優勝旗と賞状を授与する。個人戦・団体戦とも3位(2名、2チーム)まで賞状を授与する。

(7) その他

- ①参加選手は、空手着左胸に学校名もしくはチーム名を記したゼッケンを縫いつける。その際、校名に「中」の表記は不要とする。また、地域クラブはチーム名略称を使用することができる。
- ②監督・コーチの服装は、空手着もしくは白色のYシャツ・ブラウス・ポロシャツと黒・紺・グレーのスラックス(スカート)とする。空手着を着用する場合は、左袖の県名、左胸の学校名のみ記入することができる。無地でも可。監督会議時の服装も同様とする。
- ③九州大会への参加資格は、個人戦については形・組手ともそれぞれ1位・2位・3位(2名)の計4名、団体戦については形・組手ともそれぞれ1位・2位および、優先順位決定戦に勝利した第3代表の、計3チームとする。
- ④申込締切 令和8年5月28日(木)
- ⑤申込先 佐賀県中体連事務局
- ⑥参加料 生徒一人あたり1000円を大会当日受付に持参する。
- ⑦感染症対策については、本連盟の「感染症等に関わる対応について」を遵守すること。